



各 位

平成 20 年 7 月 30 日  
 会社名 高砂鐵工株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 吉田 保  
 (コード番号 5458 東証二部)  
 問合せ先 経理部長 畑田 正樹  
 (TEL. 03 - 5399 - 8111)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 4 月 28 日の決算発表時に公表した平成 21 年 3 月期(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)の業績予想(連結・個別)を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 21 年 3 月期の連結業績予想数値の修正(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(第 2 四半期連結累計期間)

(単位: 百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	17,000	250	150	△300	△9 98
今回修正予想 (B)	17,500	△150	△250	△950	△31 61
増 減 額 (B - A)	500	△400	△400	△650	—
増 減 率 (%)	2.9	—	—	—	—
(ご参考) 前第 2 四半期 連結累計期間実績	18,892	726	654	333	11 10

(通期)

(単位: 百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	36,000	900	700	100	3 33
今回修正予想 (B)	35,000	350	150	△650	△21 63
増 減 額 (B - A)	△1,000	△550	△550	△750	—
増 減 率 (%)	△2.8	△61.1	△78.6	—	—
(ご参考) 前期実績	36,503	835	637	0	0 01

#### 2. 平成 21 年 3 月期の個別業績予想数値の修正(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(第 2 四半期累計期間)

(単位: 百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,000	200	150	△250	△8 32
今回修正予想 (B)	13,000	△100	△150	△450	△14 97
増 減 額 (B - A)	1,000	△300	△300	△200	—
増 減 率 (%)	8.3	—	—	—	—
(ご参考) 前第 2 四半期 累計期間実績	13,422	566	504	270	9 00

(通期)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 26,000	百万円 650	百万円 500	百万円 50	円 銭 1 66
今回修正予想 (B)	26,000	350	200	△250	△8 32
増減額 (B-A)	—	△300	△300	△300	—
増減率 (%)	—	△46.2	△60.0	—	—
(ご参考) 前期実績	25,751	532	380	△94	△3 15

### 3. 修正の理由

当社グループの主要事業である鉄鋼製品事業においては、前期上半期半ば以降のニッケル原料価格の急落に伴い、製品販売価格の下落や買い控え、流通段階での在庫調整の動きなどステンレス部門を取り巻くマーケット環境が激変いたしました。今期に入っても、ニッケル原料価格はじり安傾向が続く一方、鉄鋼原料やクロム鉱石等は大幅に上昇する等、厳しいマーケット環境が継続しております。その結果、製品販売価格の改定が遅れ気味になり、前期増加した在庫の削減も計画どおり進まず、今期から導入された「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用にともなう損失も想定以上に膨らみました。

また、モーターサイクル関連部品事業においても主力とする米国市場においてサブプライムローン問題による景気の後退、ガソリン高の影響を大きく受け、需要が激減したため、販売が予想以上に落ち込み採算が急激に悪化しており、需要回復には今暫らく時間がかかるものと思われま

す。  
なお、たな卸資産の期首在庫に係る簿価切り下げ額である特別損失（たな卸資産評価損）は前回発表時には連結で300百万円（個別で250百万円）を見込んでおりましたが、第1四半期において連結で584百万円（個別で458百万円）を計上いたしました。

以上により、前回発表の予想に対して連結では、売上高・営業利益・経常利益・当期純利益が、個別においては営業利益・経常利益・当期純利益が減少となる見込みです。

#### [業績予想に関する留意事項]

本資料における予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

以 上